

opti 2025
ファイナルレポート

国際メガネ・オプティクストレンド専門見本市
 2025年1月31日～2月2日
 メッセ・ミュンヘン

2025年2月3日

opti 2025 — オプティカルイヤーへの力強いスタート

Summary

- 出展社 23カ国から 330社、来場者 21,105人(意思決定者 70%超)
- コンタクトレンズの多用途性を紹介する併催プログラム『TOMORROW VISION』が好評



Facts & Data

会期	2025年1月31日(金)～2月2日(日)
会場	メッセ・ミュンヘン
主催	GHM - Gesellschaft für Handwerksmessen mbH(手工業見本市会社)
規模	(2024年度:40,000㎡)
出展社数	23カ国から330社(2024年度:28カ国から358社)
来場者数	21,105人(2024年度:70カ国から21,504人)
主な出展品	メガネ部品・用品(フレーム、レンズ、チェーン、ストラップ、ケース、クリーニング・ケア用品、交換部品など)、サングラス、保護メガネ・ゴーグル、子供向けメガネ、コンタクト・オプティカル・太陽光保護レンズ、レンズ溶液、レーザー視力矯正技術、検眼・視力検査・眼科機器、補聴器、医師・メガネ製造業向け機器・用品、研磨機、光沢剤、メガネ店舗設備・備品(ショーウィンドウ用品、展示ケース、在庫管理システムなど)、顕微鏡、双眼鏡、暗視機器、コンサルティング、業界団体・媒体など
併催プログラム	opti SUSTAINABILITY HUB、opti MYOPIA HUB、opti FUTURE VISION HUB、opti NEXT GENERATION HUB、TOMORROW VISION など
出展日本企業(現法出展など含む)	(株)シード、(株)シャルマン、(株)G.A.YELLOWS、セイコーオプティカルプロダクツ(株)、タナカフォーサイト(株)、(株)トプコン、HOYA(株)、増永眼鏡(株)、(株)メニコン、kearny、The LIGHT Co. Ltd.、TAYLOR WITH RESPECT ほか
専用URL	www.opti.de (英語/ドイツ語)

ミュンヘンで開催された opti 2025 は、この 3 日間の見本市を通して、国際メガネ・オプティクスに再び強いシグナルを発信した。この見本市は、#weareopti をモットーに、イノベーション、対話、未来志向のテクノロジーとトレンドのプラットフォームとしていかにうまく機能しているか、そして業界全体における opti への熱意がいかに大きいかを実証した。

「史上最高」、「絶対的に重要」、「素晴らしい売上」、「完璧な成功」、「主催者は約束を守った」。このような熱狂的とも言える声 opti 2025 への出展企業から寄せられた。さらに、業界からの来場者 21,105 人のうち意思決定者が 70%を超えた。これらは、このイベントが大成功あったことを物語っている。

opti2025 の 3 日間を特徴づけた非常に前向きな雰囲気は、昨年を通して新しいアイデアで推進してきた opti チーム、出展者、業界関係者の緊密な協力の結果であり、出展者の満足度がそれを示している。97%を超えるほぼすべての出展者が、自社ブースの製品に対する来場者の関心度について「高い」または「非常に高い」と評価した。また、出展者の 89%が、opti に参加したことによるビジネス関係の開始について「非常に良い」または「良い」と評価した。そして、90%超の出展者が、引き続き opti 2026 へも出展すると表明している。



opti への出展者は、ドイツからの 190 社を含めて、23 カ国から 330 社に上り、メガネフレームメーカーをはじめ、コンタクトレンズやメガネレンズのサプライヤー、大手ブランド、革新的な独立系デザイナー、コンサルティング会社、IT コンサルタント、機器・レンズメーカー、店舗設備会社、聴覚音響関連会社など、オプトニクス産業のバリューチェーン全体にわたって紹介した。

opti の責任者である Cathleen Kabashi は、「opti は成功への道を歩み続けている。opti 2024 の後、更に上を目指した我々の努力が結実した。『opti HUB ARENA』の情報ハブと、コンタクトレンズメーカー向けの共同プラットフォームである『TOMORROW VISION』を統合したことは、来場者や出展者から非常に良い反応が得られた。そして、opti のコンセプトも、例年のキックオフとしての opti の位置づけも、いずれも成功したと確信している。後者は、私たちのステークホルダーとの緊密な協力と強力なコミュニティに基づいており、このコミュニティ意識が今の opti を成り立たせている」と、opti に言及して述べた。

opti の主催者である GHM (Gesellschaft für Handwerksmessen mbH) の CEO Dieter Dohr は、「私はただただ圧倒された。雰囲気は素晴らしく、業界の熱意がはっきりと伝わってきた。来場者は見本市を存分に楽しんでた。特に、コンタクトレンズが様々な観点から紹介され、『TOMORROW VISION』においては多くの専門家がプレゼンテーションの際にスポットライトを浴びて輝いていたことに感銘を受けた。このような独創的なアイデアが、opti をドイツ、オーストリア、スイスなどの多くの市場で確実に定着させ、製品ラインアップ戦略や年間計画の重要な発想源としての地位を更に確立させるに違いない」と総括した。

見逃す限りハイライト

最も革新的で、見本市のハイライトとなったものは、『TOMORROW VISION』である。これは、Alcon 社、Bausch + Lomb 社、CooperVision 社、Hecht 社、Hetych 社、株式会社メニコン、MPG&E 社、SwissLens 社、Wöhlk 社の9つの著名な会社のジョイント・コンタクトレンズ・プラットフォームである。『コンタクトレンズはメガネ・オプティクスの未来』というスローガンの下、来場者は、170 平方メートルの共同エリアで、レンズの利点とその高い販売ポテンシャルに最大限の重点を置いた包括的なプログラムを体験した。

もう一つの opti のハイライトは、初めて 4 つのインフォメーション HUB が集中的に配置された『opti HUB ARENA』であった。既存の『opti SUSTAINABILITY HUB』や『opti MYOPIA HUB』に、メガネ・オプティクスの最新トレンドを紹介する『opti FUTURE VISION HUB』も加えられ、見本市のメガネフレームセグメントも紹介された。とりわけ、ニューヨークのトレンドエキスパート Selin Olmsted 氏による『アイウェアトレンド 2026』に関するプレゼンテーションとディスカッションは非常に好評であった。彼女が主導するトレンドツアーは 1 月初旬には既に満席となっていた。当然のことながら、業界内でトレンドの掌握が早ければ早いほど、適切な手配に活用できて、将来に適應できる可能性が高まるのである。



すぐ隣には、『opti NEXT GENERATION HUB』があり、opti は、『VDCO Young』の代表者と緊密に協力して、業界の若い才能を育成している。ここには、『NextGen Meet-up』などのスピードデート形式の場が設けられおり、オプトニクス業界の若手が、例えば、更なる高度なトレーニングの機会について、あるいは、若い才能と企業との出会いを設定したミート・マッチング形式などについて、お互いに経験を交換することができる。

表彰と opti PARTY

『opti FRAME STAR – The Audience Award』は、展示された 50 件のメガネフレームの中からお気に入りのフレームを QR コードで投票して選ぶ『opti FRAME STAR – The Audience Award』が、今回初めて発表され、ミュンヘンの Munic Eyewear 社が見事に受賞した。第 5 回 opti BOX AWARD は、ベルリンのスタートアップ企業 Manti Manti 社が、子供用アイウェアのデザインで受賞したことを、The Optical Journal の Daniel Feldman 氏が率いる国際審査員会が紹介した。そして、金曜日の opti PARTY は、今年も見逃せないイベントとして定着しており、見本市参加者の皆が軽快な音楽と飲み物で初日の成功を祝った。

次回 opti 2026 は、2026 年 1 月 16 日から 18 日までドイツ・ミュンヘンで開催の予定。

詳細情報ならびに写真は、専用ホームページ www.opti.de まで

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先:

メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 e-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)